

「前之浜小学校の前之浜チヨイのチヨイ踊り伝承活動の取組」

1 学校名

鹿児島市立前之浜小学校

2 学年・人数

3・4・5・6学年（計21人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和2年6月～9月 総合的学習の時間(本校体育館・運動場)

(2) 発表の日時・場所

令和2年9月27日(日) 小学校・校区合同運動会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

前之浜のチヨイのチヨイ踊り(まえのはまのちよいのちよいおどり)

(2) 由来

言い伝えによると200年もの間、門外不出で前之浜地区に伝えられているとされている。元々は男子のみで踊られていた。戦の際になかなか敵城を落とせないため、化粧をして女性に化け、敵を油断させて攻めたという故事に由来するという説もあるが、定かではない。扇子と刀を持って戦闘の様子を再現するが、地元では慶事の際に踊られてきた伝統がある。

(3) 構成等

鉦を持ち鬼面を被った二人に先導された踊り子が鉦を鳴らしながら巖かに入場する。踊り子の前歌に続き、年長者の踊り歌に合わせ、刀を勢いよく振りかぶり扇をパッと開くのが前之浜校区に二百数十年前から伝わる郷土芸能「チヨイのチヨイ踊り」の特徴である。優雅にして勇壮な踊りと表される。

5 保存会や地域との連携の具体例

昔は前之浜の川上集落に伝わるものだったが、時代の流れとともに前之浜全体で踊られるようになり、現在はチヨイのチヨイ踊り保存会が中心になって、地域の伝統芸能を守っている。保存会の指導に当って「個性あふれる学校づくり推進事業」を活用し、講師の負担軽減と伝承活動の持続に心がけている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

前之浜小学校では、3・4年生が総合的な学習の時間に郷土への愛情や誇りを持ち、そのよさを守り伝え、その発展に主体的に貢献しようとする態度を育むために郷土芸能「チヨイのチヨイ踊り」を学んでいる。

保存会の方を講師に、踊りの歴史について調べ、実際に踊りを教わる。保存会の方々の熱い指導もあって、子供たちはみるみる上達していく。そして、運動会で新しく踊りをマスターした3・4年生と5・6年生全員で華麗に舞う。例年であれば「喜入地域文化祭」など様々な機会に踊りを披露し、地域の大切な郷土芸能の伝承に貢献しているが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防

止の為、諸行事が相次いで中止になった。その為、運動会のための披露となったのが残念である。来年度は、たくさんの場で伝承した踊りを披露する子供たちの姿を楽しみにしている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）

○運動会に向けての練習風景



○運動会での発表



8 参加児童生徒・教員等の感想・意見

（児童生徒）

チョイのチョイの踊りを4人の地域の方が教えに来てくださいました。一人は、ぼくのおじいちゃんです。足が痛くなるまで踊って、いい勉強になりました。最後まで踊りきることができてとても満足です。次はもっと上手に踊りたいです。

（教師）

決して簡単な振り付けではなく、激しさも強弱も多いので、3年生が覚えられる(踊れる)かどうか心配したが、厳しい暑さの中での毎回2時間の練習に、子供たちは熱心に取り組んだ。その結果、「呑み込みが早くて上手い」と保存会の方からもお褒めの言葉を頂くほどだった。上級生もリーダーシップを発揮し、下級生に積極的に教える姿も見られ、頼もしかった。

運動会当日は、本格的な法被に身を包み、素晴らしい演技を披露して、たくさんの拍手を頂いた。踊りきった子供たちも誇らしげであった。これからも前之浜の子供たちに、この踊りを確実に伝承して行ってほしい。